

第2回定例会

・町長行政報告



町長行政報告

(要旨)

□農作物の生育状況

春は低温が続き、作付けが全体的に遅れ、特にビートは10日以上の遅れを生じる圃場もあり、町、農協等の職員が5月17日から援農支援を行いました。

牧草は生育が遅れ、収量そのものへの影響が心配ですが、天候の回復とともに生育も盛り返しています。

□牧野の入牧状況について

5月21、22日で入牧し、減少が続いていた入牧頭数も徐々に増加傾向となり、5月末現在、6ヶ所の牧野で775頭が預託されています。

□漁業について

外海はたて稚貝放流は天候に恵まれ5月18日から25日の8日間で終了し、予定していた9327万粒に対し9714万9千粒をC海区に放流しました。

佐呂間町内の高齢者支援のために

あんしんQR事業を準備中!!

まず稚魚は、本年度から河川放流に切り替え、5月6日に富士と若里からそれぞれ放流しました。

外海はたて漁業は、6月1日から本操業し、漁獲目標が7600トンと少ないことから、1隻の日産操業は6月の上旬は6トン、下旬は15トンで今後の貝の状況を見て日産20トンまで増産する予定です。

漁港整備事業は、富士土本港で用地測量や物件調査などが9月から実施されます。

若里分港は、新港の舗装工事が始まり、今後は旧港の物揚場改良工事が8月に、新港の北防波堤・突堤新設工事が9月に発注されます。
浜佐呂間漁港は浚渫工事が6月下旬から実施されます。

□公共事業の執行状況

昨年度末に補正した交付金事業の12件、総額9560万円の事業のうち、5月末での発注状況は6件で4950万円、発注率は57%です。
23年度の主な工事と委託の

事業は42件で、総事業費4億980万円を予定、この内5月末の発注状況は13件で9500万円、発注率26%です。

□農協が進めるTMRセンター建設工事について

5月連休明けに入札があり町内の2業者が参加した企業が受注し、来年8月の飼料供給に向け順調に事業が進められています。

麦の乾燥施設増設工事は、本年度の小麦の受け入れに向け、期限までには完成されると報告を受けています。

□東日本大震災について

管内全18市町村とオホーツク総合振興局で取り組む、東日本大震災の被災地支援「オホーツク絆プロジェクト」の第一弾が5月28日、29日を実施され岩手県大船渡市と宮城県東松島市に管内の特産品を提供し、職員を1名派遣しました。今後第二弾、第三弾と計画中です。

また、職員1名が、所属組織の要請で1週間程度、岩手

県宮古市で支援活動を行ってきました。

□「佐呂間町高齢者あんしんネットワーク会議」の設立について

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、高齢者やその家族への総合的な支援を目的に「佐呂間町高齢者安心ネットワーク」会議が5月24日に設立しました。

この会議は町内の福祉団体や自治会連合会、遠軽警察署など16団体で構成し、高齢者虐待対策、認知症対策、消費者被害対策、家族介護支援など高齢者に対する総合的な支援を行います。

中でも一人暮らしの高齢者などを対象に、本人の氏名、通院先や緊急連絡先などの情報を入手し、家庭内での保管や携帯が可能なQRコードによって緊急時の救急医療や家族などへの連絡を容易に出来る「佐呂間町高齢者あんしんQR事業」の実施に向け準備を進めています。